工　事　説　明　書

ガスビルトインコンロ
型　式　名
C3WL5PWA・DW31L5WA

誤った機器の設置を行った場合の危害･損害の程度を、次のように区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。	
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

禁止　必ず守る　分解禁止　アースする　ぬれ手禁止

設置される方へ（この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。）

・周囲の壁が不燃材料以外で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
どうしても設置しなければならない場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。
防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。

※仕上げの構造が確認できない場合は、必ず防熱板を取り付けてください。

・下記に応じて設置を行ってください。
（1）ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 → 6ページ
（2）ビルトイン形ガスオーブンとセットで設置する場合 → 14ページ

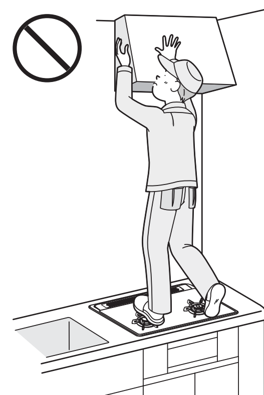
⚠警告

必ず守る　**機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う。**

必ず守る　**建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う。**

禁止　**トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズをつけない。**
ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。
また火災・損傷事故の原因になります。

禁止　**機器の上には絶対にのらない。また、ガラスに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけない。**
ごとくの変形やトッププレートのガラス破損につながり、異常過熱や火災の原因になります。



⚠注意

分解禁止　**設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わない。**
一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。

お願い

・非常用電池ケースに乾電池を入れたまま放置しないでください。
・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

・この工事説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。
・設置が終了したら、試運転のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
・この工事説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
・設置終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。



ケG74

○もくじ

開こん

◎同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部　品　名	形　　状	個数
バーナーキャップ（大）＜左右コンロ用＞		2
バーナーキャップ（小）＜後コンロ用＞		1
ごとく（大）＜左右コンロ用＞		2
ごとく（小）＜後コンロ用＞		1
バーナーリングカバー（大）＜左右コンロ用＞		2
バーナーリングカバー（小）＜後コンロ用＞		1
サイドモール（左） サイドモール（右）		各1
サイドカバー（左） サイドカバー（右）		各1
グリル焼網		1
グリル焼網支持台		1
調理プレート 調理プレートホルダー 調理プレート　クッキングブック		各1
グリル排気口　ちり受け（上）		1

部　品　名	形　　状	個数
グリル排気口カバー		2
グリルとびら		1
電源アダプターコード（アース線付）		1
非常用電池ケース（アルカリ乾電池単3形6個仕様）		1
取扱説明書（保証書付） 工事説明書 クッキングブック 検圧口ネジ用アルミパッキン	検圧口ネジ用アルミパッキンは、ビルトインコンロで検圧した場合の取り替え用です。機器取付パッキンとは形状が異なりますので注意してください。	各1

ダッチオーブン同こんタイプ 品名コードの末尾が○○○○○○D		
ダッチオーブンふた ダッチオーブン網 ダッチオーブン本体 ダッチオーブン支持枠 レシピカードセット 鍋つかみ		各1

各部のなまえ

天面液晶表示
火力表示ランプ
※機器単体設置用ガス接続口

[左コンロ]
バーナーキャップ(大)
左コンロ用温度センサー
バーナーリングカバー(大)
ごとく(大)

トッププレート
非常用電池
ケースふた
サイドカバー
グリル燃焼ランプ
赤外線発信部
（レンジフード連動用）
グリル操作部
グリルお知らせサイン
グリルとびら
（グリルとびら取っ手）
グリル焼網
グリル受け皿
グリル焼網支持台

[後コンロ]
バーナーリングカバー(小)
バーナーキャップ(小)
後コンロ用温度センサー
ごとく(小)

グリル排気口
グリル排気口カバー
ガスオーブン設置用
ガス接続口　※

[右コンロ]
バーナーキャップ(大)
右コンロ用温度センサー
バーナーリングカバー(大)
ごとく(大)

ロック機能ランプ
ロック機能ボタン
電源ボタン／電源ランプ
赤外線発信部
（レンジフード連動用）
右コンロ用点火／消火ボタン
お知らせサイン
後コンロ用点火／消火ボタン
お知らせサイン
左コンロ用点火／消火ボタン
お知らせサイン
コンロ操作部

※ガス接続口の位置を示す。（透視図）

設置前の注意

◎設置する機器の確認

・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

⚠注意

必ず守る

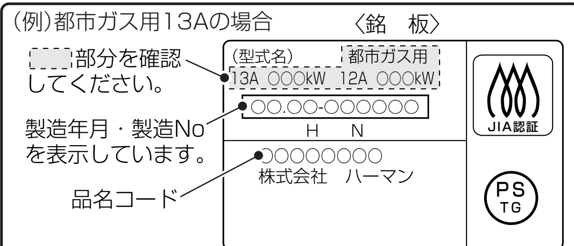
銘板（非常用電池ケースふた裏面に貼付）に表示してあるガス・電気に適合していることを確認する。
（取扱説明書の10ページを参照してください。）
火災・不完全燃焼・爆発着火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。

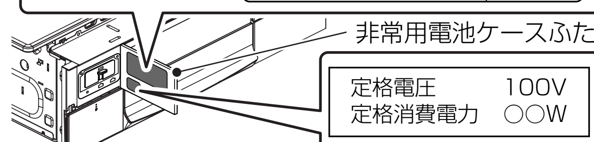
必ず守る

ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。
爆発や不完全燃焼の原因になります。

必ず守る

この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。
火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。





◎設置場所の確認

・設置場所を決めるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠注意

必ず守る **設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。**
<u>他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。</u>

必ず守る **設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。**

必ず守る **水平で丈夫な場所に設置する。**

必ず守る **保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。**
<u>設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。</u>

禁止 **引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。**

必ず守る **ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。**

禁止 **棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。**
<u>火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。</u>

禁止 **この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置すると著しく機器の寿命が短くなります。**

必ず守る **コンロ下部キャビネット裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする。**
・右図のようにガス配管貫通部など建物構造上内気と外気がつながり、図1のような異常な空気の流れが起こるのでキャビネットに背板をもうけるか、図2のように仕切板※（ベニヤ板など）により機器の後方をふさいでください。

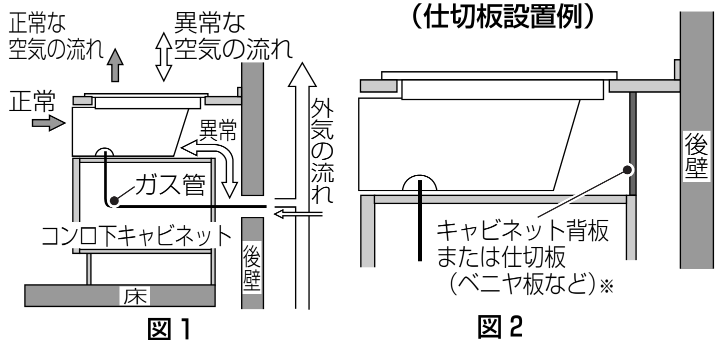


図1　図2

<u>コンロの炎がゆらいだり・消えたり、異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。</u>

※別売の仕切板セット（DP0723、DP0724）を用意しています。仕切板セットのお求めは、お買い上げの販売店または、弊社（取扱説明書の裏表紙連絡先参照）に連絡してください。

禁止 **ワークトップの前面部と機器の間を化粧板などで閉塞しない。**
<u>不完全燃焼の原因や、液晶部の冷却用ファンが正常動作せず、機器が途中で停止するおそれがあります。</u>

ワークトップ
化粧板など
機器側面

・上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
　・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
　・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

機器の設置

◎防火上の離隔距離

- ・機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。
- ・この機器は防火性能評定品です。

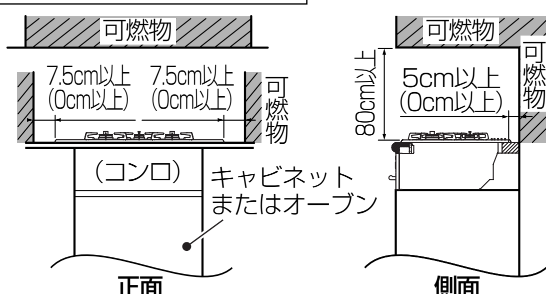
⚠注意


必ず守る

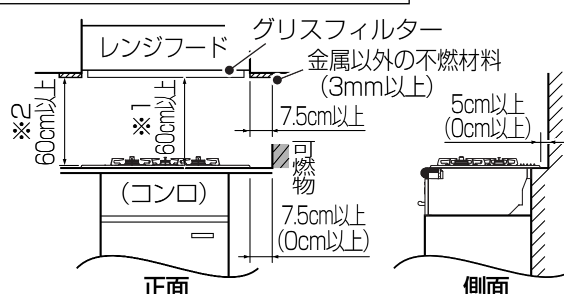
周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。
火災の原因になります。

※機器の周囲の可燃物(可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む)とは、トッププレート上部に貼り付けの防火性能評定ラベルに基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合



レンジフードおよび不燃材の場合



※(　)内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料3mm未満は、80cm以上。

◎**上記離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。**(下記参照)

⚠注意

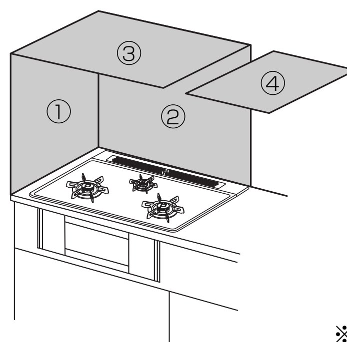

必ず守る

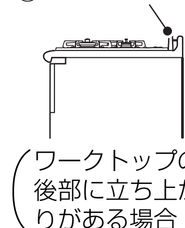
防熱板(別売品)は、必ず指定のものを使用する。
防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。

・防熱板は5種類用意しています。
・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は別売の防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

コード番号		高さ(mm)	幅(mm)
①	DP 0128	590	535
②	LP 0131	590	750
③	DP 0129	550	900
④	LP 0117	550	150
⑤	DP 0104	90	750

※DP0104はワークトップ後部の立ち上がり用





(ワークトップの後部に立ち上がりがある場合)

※イラストはイメージです。

防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、弊社(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

◎ワークトップおよびキャビネットについて

・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS K6903）または同等以上の材料としてください。

　・ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。

・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。

　・穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

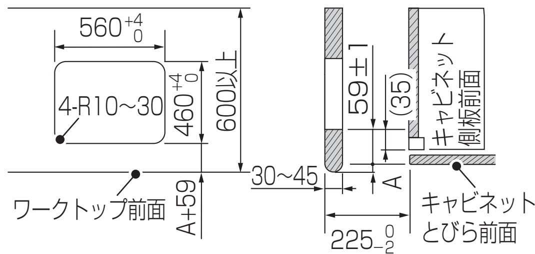
⚠注意


禁止

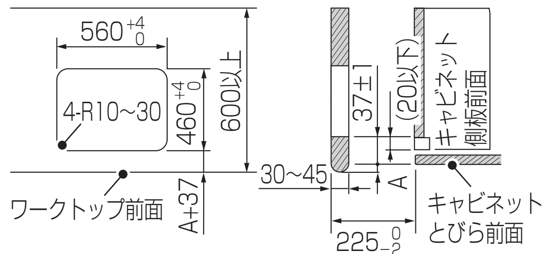
45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。
また、不完全燃焼の原因や、液晶部の冷却用ファンが正常動作せず、機器が途中で停止するおそれがあります。

〈単位：mm〉

標準（A＋59）穴あけ寸法



A＋37穴あけ寸法



穴あけ寸法はA＋59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA＋59、（A＋45）A＋37のどちらでも設置できます。

◎機器の取り付け

・ビルトインコンロ単体で設置する場合

［標準設置図・機器寸法図］

※《　》内の寸法はA＋37設置寸法です。

〈単位：mm〉

オーブン接続口
後コンロ
220
電源アダプター接続部
509
155
164
左コンロ
370
右コンロ
737
火力表示ランプ
天面液晶表示部

ワークトップ穴端面
460 +4 0
34
トッププレート
A
59±1
キャビネットとびら前面
A+59設置状態

ワークトップ穴端面
460 +4 0
12
トッププレート
A
37±1
キャビネットとびら前面
A+37設置状態

ロック機能ボタン
非常用電池ケースふた
電源ボタン
電源ランプ
赤外線発信部
（レンジフード連動用）
グリル燃焼ランプ
赤外線発信部
（レンジフード連動用）
205
右コンロ用点火／消火ボタン
ガス接続口
後コンロ用点火／消火ボタン
598（本体寸法）
左コンロ用点火／消火ボタン
グリル操作部
コンロ操作部

59《37》
34《12》
A+59設置状態
44
225 0 −2
220
30～45
120
213
(18)
290
459
492
オーブン接続口
（M24）
電源アダプター
（コード長さ1.8m）
ガス接続口
（Rc1/2）

[機器本体の取り付け]

<table>
<tr><th>作　業　手　順</th><th>説　明　図</th></tr>
<tr><td>

1．機器側ガス接続口の接続ふたの取り外し

・機器底部左側のガス接続口に取り付けてある接続ふた（ネジ3本）とOリングを取り外してください。

《取り外した接続ふた・接続ふた取付ネジは不要です。》

</td><td>

ガス接続口位置は3ページ参照

Oリング
接続ふた
接続ふた取付ネジ
（本体底部左側）

</td></tr>
<tr><td>

2．電源コードコネクターの取り付け

1. グリル排気口ちり受け（下）（ネジ1本）・グリル排気筒（ネジ2本）を取り外してください。
《取り外したグリル排気口ちり受け（下）・グリル排気口ちり受け（下）取付ネジ・グリル排気筒・グリル排気筒取付ネジは電源コードコネクター接続後、再度使用します。》
2. 仕切板（左）（ネジ2本）・仕切板（右）（ネジ2本）を取り外してください。
《取り外した仕切板（左）・仕切板（左）取付ネジ・仕切板（右）・仕切板（右）取付ネジは電源コードコネクター接続後、再度使用します。》
3. 付属の電源コードコネクター部を、右図の要領で取り付けてください。
・機器本体をワークトップにはめ込んだあとでも、接続は可能です。
4. 電源アダプターをコンセントに差し込んでください。
・電源は電気配線工事（22ページ）を参照してください。
5. 「1．機器側ガス接続口の接続ふたの取り外し」で取り外したグリル排気口ちり受け（下）・グリル排気筒・仕切板（左）・仕切板（右）を取り付けてください。
・取り外しの逆の手順で行ってください。
※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。

</td><td>

1.
グリル排気筒取付ネジ
グリル排気口ちり受け（下）取付ネジ
グリル排気口ちり受け（下）
グリル排気筒

2.
仕切板（左）取付ネジ
仕切板（右）取付ネジ
仕切板（右）
仕切板（左）

3.
取り外す場合はこの部分を押してください。
電源コードコネクター

</td></tr>
<tr><td>

3．前桟パットの取り外し

・前桟パットを手前に引き抜いてください。

お願い

・テープはがしシート・発泡シートは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。
取り外すと、各操作部パネル・非常用電池ケースふたが開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。

</td><td>

テープはがしシート
前桟パット
発泡シート

</td></tr>
<tr><td>

4．機器本体のはめ込み

・機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。
※上部左右の枠を持たないでください。
※はめ込み時はワークトップ・パネル・電源コードなどをキズつけないように注意してください。

⚠注意

禁止　**絶対にガス配管やバーナーなどを持たない。**
ガス漏れや異常燃焼の原因になります。

必ず守る　**機器を設置したあと、設置用取っ手を奥側にたおす。**
トッププレートのガラスが割れる危険があります。

</td><td>

設置用取っ手
パネル面
部は持たないでください。
奥側にたおす

</td></tr>
</table>

作　業　手　順	説　明　図
5. テープはがしシート・発泡シートの取り外し ・テープはがしシートの両端の①を持ち、テープが機器前桟部よりはがれるまで引き出してください。 ・テープはがしシート②に持ち替えて前面テープを引き出し右図ｂ)の状態にしてください。 ※テープはがしシートの番号がわかりにくい場合は、右図を参照して引き出してください。 ・機器下面のテープ・操作部パネルのテープを取り外してください。 **お願い** ・発泡シートは無理に取り外さないでください。 <u>各操作部パネル・非常用電池ケースふたのツメが変形したり、破損する原因になります。</u>	ａ)　機器前桟部　①　②　テープはがしシート　②　①　発泡シート 操作部パネルテープ ｂ)　操作部パネルテープ
6. サイドモールの取り付け ・サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ※サイドモールは、（左）（右）がありますので、右図の通り取り付けてください。 **《サイドモールの取り付け忘れ注意！》**	サイドモール（左） サイドモール（右）　凸部（切り込み）
7. パネルキズ防止材の取り外し ・左右操作部パネル下面内側に貼り付けているパネルキズ防止材とグリル前面にあるグリル入口パットを取り外してください。 **お願い** ・パネルキズ防止材を必ず取り外してください。 <u>取り付けたまま左右操作部パネルを閉めると、ツメなどが破損や変形の原因になります。</u>	左操作部パネル パネルキズ防止材 右操作部パネル パネルキズ防止材 グリル入口パット
8. 各操作部パネル・非常用電池ケースふたの取り付け ・各操作部パネル（3カ所）・非常用電池ケースふた（1カ所）を、右図の矢印の方向に回転させて、はめ込んでください。 **お願い** ・機器本体を取り出し、再度取り付ける場合は、グリル入口パットを再度取り付けて、各操作部パネル（3カ所）・非常用電池ケースふた（1カ所）を開かないようにテープで固定してください。（元のテープが再使用できない場合は、養生テープなどを使用してください。） <u>テープで固定せずに機器本体の取り出し、取り付けを行うとパネルが開き、各操作部パネル・非常用電池ケースふたのツメが変形したり、破損する原因になります。</u>	回転　回転　回転　回転

各操作部パネル・非常用電池ケースふたの取り付け後、必ず確認してください。

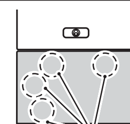
⚠注意

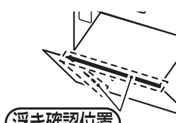
各操作部パネル・非常用電池ケースふた取り付け後、コンロ・グリル操作部パネル周辺に「浮き」がないことを必ず確認する。（必ず守る）
浮きがあると、煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。

浮きがある場合は、右図の「押し位置」を指で押さえる。（必ず守る）

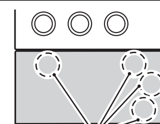
非常用電池ケースふた取り付け後、非常用電池ケースふた裏面にストッパーバネがツメ部に取り付けられていることを確認する。（必ず守る）
ストッパーバネが取り付けられていないと、非常用電池ケースふたが90° 以上開き、グリルとびらにキズがつく原因になります。

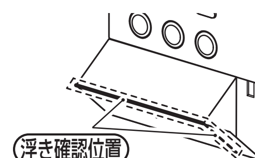
グリル操作部パネル





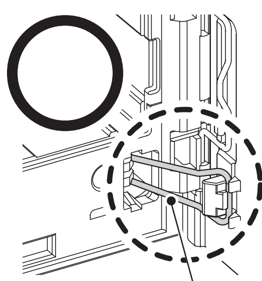
コンロ操作部パネル



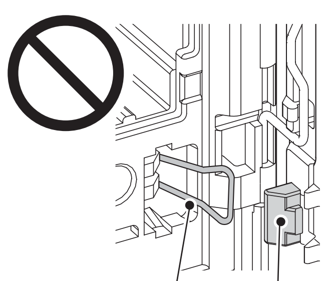


押し位置を指で押さえ、
浮き確認位置の浮きがないことを確認してください。

ストッパーバネが正しく取り付けられた図



ストッパーバネがツメ部から外れている状態

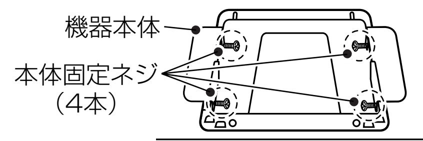


ストッパーバネとツメ部が外れているとき

ストッパーバネを図のように正しく押し込み、非常用電池ケースふたを閉めてください。ストッパーバネがツメ部に取り付けられます。再度、非常用電池ケースふたを開いて、ストッパーバネがツメ部に取り付けられていることを確認してください。

押し込み位置を確認！



作　業　手　順	説　明　図
9. 機器本体の固定 ・機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。 ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。	

[部品の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1. トッププレートの取り付け 1. 機器本体後部に止めてあるトッププレート固定用ネジ(2本)を外してください。(このネジは、3. で使用します。) 2. トッププレートを水平に保ちながら機器本体にかぶせます。バーナーリングとバーナーを合わせながらトッププレートを取り付けてください。 トッププレート裏面突起部がトッププレート固定バネに確実に固定するように、トッププレート手前部を押さえてください。 3. 1. で外したトッププレート固定用ネジで、トッププレートを固定してください。 **《必ず手動ドライバーを使用！》** **※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。** **お願い** ・トッププレートの取り付けは確実に行い、浮きがないことを確認してください。 ・トッププレート枠下部周囲に取り付けられているシールパッキンが外れていないか確認してください。	トッププレート固定用ネジ バーナーリング(大) トッププレート (裏面突起部：2カ所) バーナー(大) バーナーリング(小) バーナーリング(大) バーナー(小) バーナー(大) トッププレート 固定バネ トッププレート トッププレート 裏面突起部 トッププレート 固定バネ トッププレート枠 ガラス シールパッキン

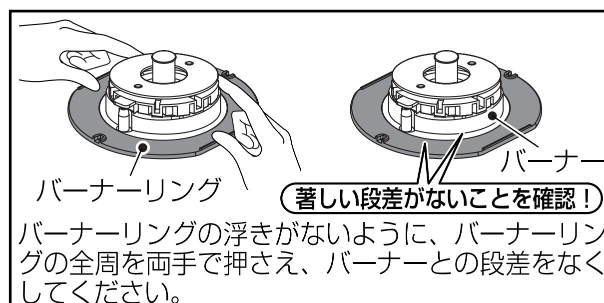
トッププレート取り付け後、必ず確認してください。

⚠注意


必ず守る

トッププレート取り付け後、バーナーリングの「浮き」がないことを必ず確認する。

「浮き」があると煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。

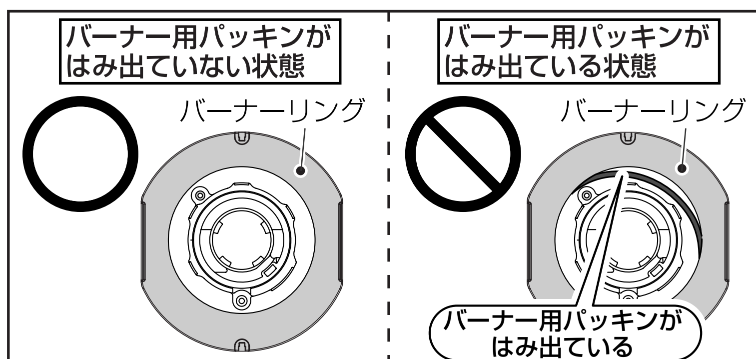


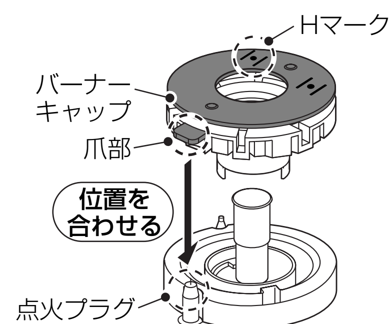
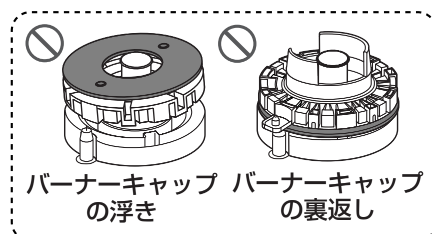
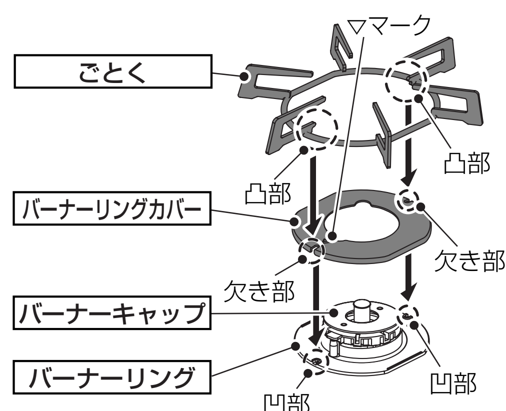
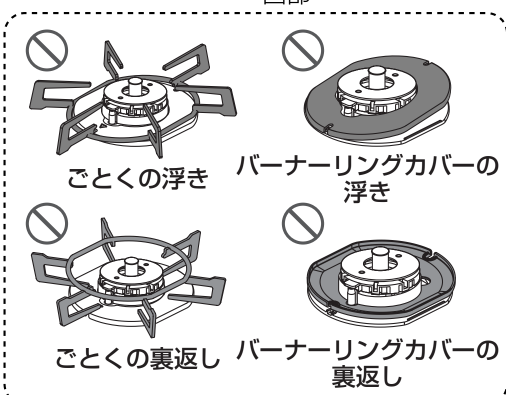
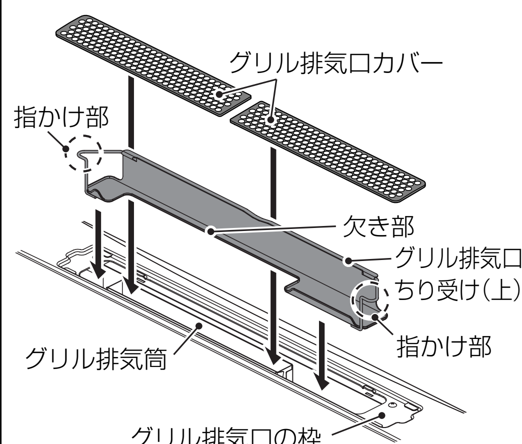
バーナーリングの浮きがないように、バーナーリングの全周を両手で押さえ、バーナーとの段差をなくしてください。


必ず守る

トッププレート取り付け後、バーナー用パッキンがはみ出ていないことを必ず確認する。

はみ出ていると、バーナーの炎により、バーナー用パッキンに異常をおこすおそれがあります。



作　業　手　順	説　明　図
2．バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとくの取り付け ・バーナーキャップ・バーナーリングカバー取り付け後、ごとくを正しく取り付けてください。 **◎バーナーキャップの取り付けかた** ・図のようにバーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、取り付けてください。 （点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。） ※左右コンロ用は、バーナーキャップに『H』マークを表示しています。 ※左右コンロの『H』マークは、ガス種・仕様により、異なります。 **⚠注意** 必ず守る **バーナーキャップを正しく取り付ける。** 誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、 ・点火しない場合があります。 ・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれやバーナーキャップが変形する原因になります。 ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。 ・誤セットのまま使用すると、機器寿命が短くなります。 **◎バーナーリングカバーの取り付けかた** ・バーナーリングカバーの▽マークを手前にし、欠き部前後2カ所をバーナーリングの凹部前後2カ所に入れて、正しく取り付けてください。 **◎ごとくの取り付けかた** ・ごとくは内側の凸部2カ所を、バーナーリングカバーの欠き部前後2カ所に入れて、正しく取り付けてください。 ※バーナーリングは、トッププレートに固定されています。 **⚠注意** 必ず守る **ごとくとバーナーリングカバーは、正しく取り付ける** 誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。 また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつくおそれがあります。	   
3．グリル排気口ちり受け（上）・グリル排気口カバーの取り付け **◎グリル排気口ちり受け（上）の取り付けかた** ・指かけ部を上にし、欠き部をグリル排気筒に合わせて取り付けてください。 **◎グリル排気口カバーの取り付けかた** ・グリル排気口カバーをグリル排気口の枠に合わせて取り付けてください。	

作　業　手　順	説　明　図

4. 非常用電池ケースの取り付けかた

停電時の非常用電池ケース

・停電時の非常用電池ケース（アルカリ乾電池単3形：6個仕様）のため、電池は同こんしていません。

1. グリル操作パネルを押して開けてください。
2. 非常用電池ケースふたの左側面の▼部に指を引っかけ、非常用電池ケースふたを開けてください。
3. 非常用電池ケースの凸部を手前にし、非常用電池ケースを挿入してください。
   ※カチッと音がするまで、しっかり奥まで押し込んでください。
4. 非常用電池ケースふたとグリル操作部を元通りに閉めてください。

《非常用電池ケースの取り付けかた（停電時のご使用について）の詳細は、取扱説明書の25ページを参照してください。》

お願い

・非常用電池ケースに電池を入れないでください。
<u>電源アダプターと同時使用すると液漏れの原因となります。</u>

・非常用電池ケースに水などの異物が入った場合は、ふき取ってきれいにしてください。
<u>電池機能不良の原因となります。</u>

・非常用電池ケースふたは約90°まで開きます。
それ以上は無理に開かないでください。
<u>ふたが破損する原因になります。</u>

1.
押す
グリル操作パネル
開く

2.
▼部
非常用電池ケースふた
引っかける
開ける

3.
凸部
下がる
押す
非常用電池ケースふた

イラストの破線はわかりやすくするために、透視図にしています。

5. レンジフードファンの赤外線信号の動作確認

［レンジフードファンと連動する場合］

・コンロ操作部で点火操作して、レンジフードファンの連動を確認してください。
・レンジフードファンが動作しない場合は、下記操作を行ってください。

◎設定を変更するとき

1. **機器本体の電源コードコネクターまたは、電源アダプターを抜いてください。**
2. コンロ操作パネルを押して開けてください。
   ※コンロ操作パネルふたを開けるときは、点火／消火ボタンが飛び出していないことを確認してください。
   コンロ操作部の右側面の下部に指を引っかけ、コンロ操作パネルふたを矢印の方向に回転させて開けてください。
3. 後コンロの点火／消火ボタンの上の ① ～ ③ の切替スイッチで ② または ③ に設定してください。
   （出荷時は ① に設定されてます。）
   ※ ① ～ ③ の切替スイッチで、各メーカー設定の信号に変更することができます。
4. コンロ操作部・コンロ操作パネルを元通りに閉じてください。
5. 電源コードコネクターまたは、電源アダプターを元通りに接続してください。
6. コンロ操作部で点火操作して、レンジフードファンの連動を確認してください。
   ※再度設定をやり直す場合は、1. の手順から行ってください。

⚠注意

禁止　**グリルとびらを取り付ける前に調整する。**
<u>グリルとびらや操作部パネルにキズがつく場合があります。</u>

必ず守る　**設定を変更する場合は、機器本体の電源コードコネクターまたは、電源アダプターを抜いて設定する。**
切替スイッチを変更しても、設定はされません。

2.
押す
コンロ操作パネル
開く
コンロ操作部
コンロ操作パネルふた
開く
回転

3.
①②③
切替スイッチ

①②③
出荷時
②～③のいずれかに切り替える

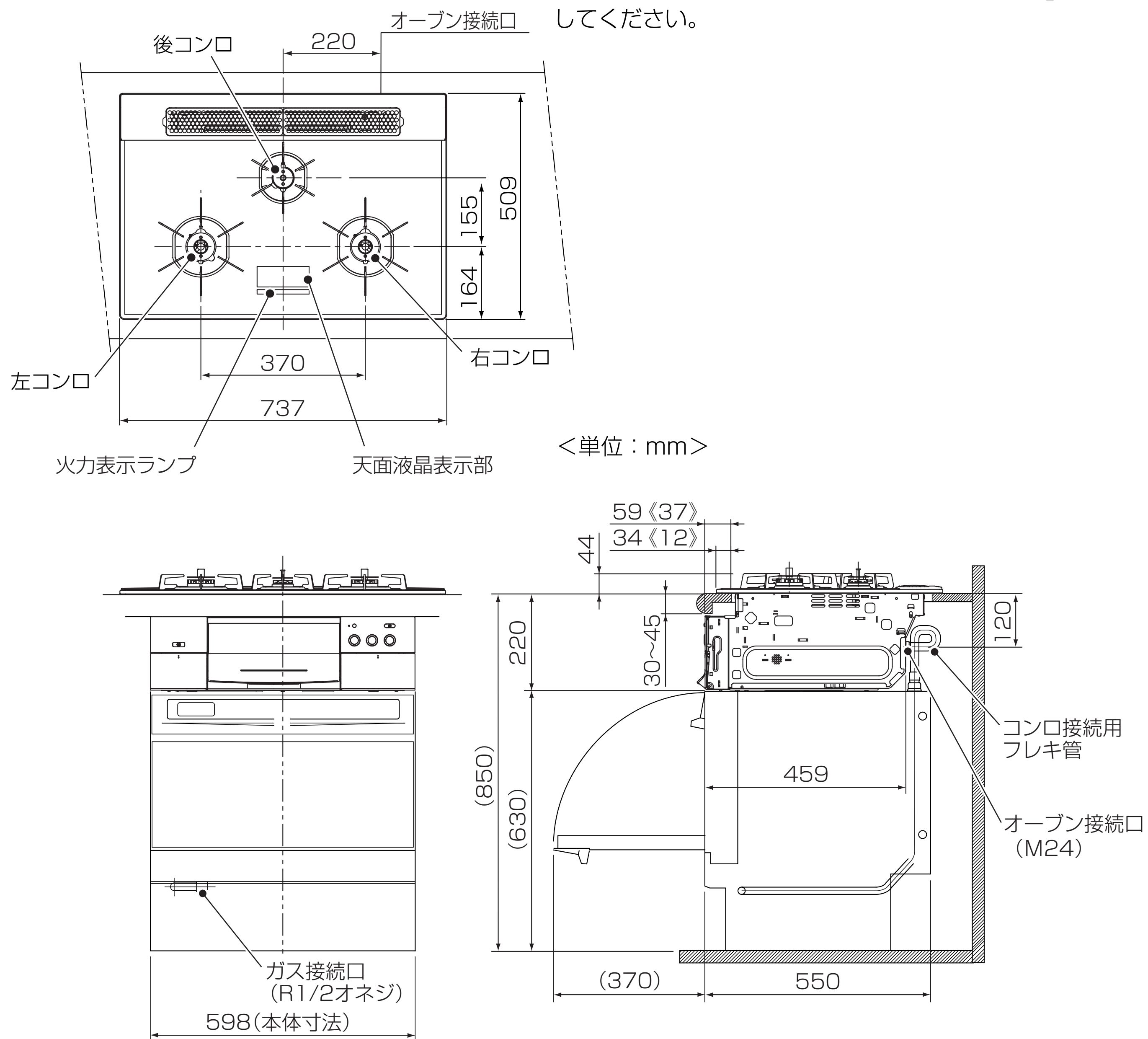
作　業　手　順	説　明　図
6. グリルとびらの取り付け 1. グリルスライド枠（グリル受け皿）を引き出し、グリル焼網・グリル焼網支持台・焼網パット・チラシ・ポリシートを取り外してください。 2. グリルとびらの溝部（2カ所）に、グリルスライド枠の凸部（2カ所）を差し込んでください。 3. とびらの下部を『カチッ』と音がするまで押し込んでください。 ※グリル焼網支持台を取り付けた状態では、グリルとびらは正しく取り付けできません。	1. グリル焼網 グリル焼網支持台 焼網パット グリル受け皿 チラシ ポリシート 2. 溝部（2カ所） 凸部（2カ所） 差し込む グリル スライド枠 押し込む 3. カチッ
7. サイドカバーの取り付け 1. 手前のフックに穴部を引っかけてください。 2. 指かけ部を奥に押しながら、奥のフックに切り欠き部を差し込んでください。 ※サイドカバーは、（左）（右）がありますので、注意してください。 指かけ部に **"左てまえ"** または **"右てまえ"** と表示しています。 ※図は、サイドカバー（左）の場合です。 サイドカバー（右）も同様に取り付けてください。	奥のフック サイドカバー 手前のフック グリル庫内 2. 切り欠き部 1. 穴部 指かけ部
8. グリル受け皿の取り付け ・グリルスライドレールの凸部（左右）にグリル受け皿の角穴が入るように置いてください。 ※ **"手前"** と表示している方をグリルとびら側にしてください。	**"手前"** 表示 グリル受け皿 角穴 凸部 グリルとびら グリルスライドレール
9. グリル焼網支持台・グリル焼網の取り付け ・グリル焼網支持台の凸部（後方2カ所）をグリル受け皿の角穴（後方2カ所）に差し込んでください。 ※グリル焼網支持台は、**"オク"** と表示している方を機器側にしてください。 ・グリル焼網をグリル焼網支持台に乗せてください。 **お願い** ・グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、サイドカバー・グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網支持台・グリル焼網が正しく取り付けされていません。 そのまま押し込むと、変形や破損の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。	グリル焼網 支持台 **"オク"** 表示 凸部 グリルとびら グリル 受け皿 角穴 グリル焼網 穴部 凸部 グリル受け皿

◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合

・オーブンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A+37仕様（Vタイプ）になります。オーブンの仕様を確認のうえ設置してください。詳しくはオーブン側の「工事説明書」を参照してください。

［標準設置図・機器寸法図］

※《　》内の寸法はA+37設置時（コンロ部）の寸法です。
※オーブン設置寸法は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。



[取り付け前の準備]

作　業　手　順	説　明　図
1．ビルトイン形ガスオーブンが設置されていること、また電源アダプターを接続するコンセントの位置を確認する	――――――
2．グリル排気口ちり受け（下）・グリル排気筒の取り外し ・グリル排気口ちり受け（下）（ネジ1本）、グリル排気筒（ネジ2本）を取り外してください。 **《取り外したグリル排気口ちり受け（下）・グリル排気口ちり受け（下）取付ネジは不要です。》** **《取り外したグリル排気筒・グリル排気筒取付ネジはガス接続・電源コードコネクター接続後、再度使用します。》** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	グリル排気筒取付ネジ グリル排気口ちり受け（下）取付ネジ グリル排気口ちり受け（下） グリル排気筒
3．仕切板（左）・（右）の取り外し ・仕切板（左）（ネジ2本）・仕切板（右）（ネジ2本）を取り外してください。 **《取り外した仕切板（右）・仕切板（右）取付ネジはガス接続・電源コードコネクター接続後、再度使用します。》** **※仕切板（左）・仕切板（左）取付ネジはオーブン排気筒の形状によって再度使用する場合があります。（18ページ参照）** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	仕切板（左）取付ネジ 仕切板（右）取付ネジ 仕切板（右） 仕切板（左）
4．閉塞栓の取り外し ・閉塞栓押え板（ネジ1本）を取り外してください。 ・閉塞栓を後方へ引き抜いてください。 **《取り外した閉塞栓・閉塞栓押え板・閉塞栓押え板取付ネジは不要です。》** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	閉塞栓押え板取付ネジ 閉塞栓押え板 閉塞栓 接続継手
5．電源コードコネクターの取り付け 1．電源アダプターをコンセントに差し込んでください。 ・電源は電気配線工事（22ページ）を参照してください。 2．付属の電源コードコネクター部を、右図の要領で取り付けてください。 ・機器本体をワークトップにはめ込んだあとでも、接続は可能です。 3．「2．グリル排気口ちり受け（下）・グリル排気筒の取り外し」「3．仕切板（左）・（右）の取り外し」で取り外したグリル排気筒・仕切板（右）を取り付けてください。 ・取り外しの逆の手順で行ってください。 **《取り外したグリル排気筒・仕切板（右）は、電源コードコネクター接続後、再度取り付けてください。》** **※仕切板（左）・仕切板（左）取付ネジはオーブン排気筒の形状によって再度使用する場合があります。（18ページ参照）**	取り外す場合はこの部分を押してください。 電源コードコネクター
6．ビルトイン形ガスオーブンの作業	この作業はビルトイン形ガスオーブン側に付属されている「工事説明書」を参照して行ってください。

[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンの組み合わせ作業]

作　業　手　順	説　明　図
1. 前桟パットの取り外し ・前桟パットを手前に引き抜いてください。 **お願い** ・テープはがしシート・発泡シートは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。 取り外すと、各操作部パネル・非常用電池ケースふたが開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。	
2. コンロ機器本体のはめ込み ・機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ※上部左右の枠を持たないでください。 ※はめ込み時はワークトップ・パネル・電源コードなどをキズつけないように注意してください。 **《コンロをはめ込む前に、オーブン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状・寸法に曲げてください。》** **⚠注意** 禁止 **絶対にガス配管やバーナーなどを持たない。** ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 必ず守る **機器を設置したあと、設置用取っ手を奥側にたおす。** トッププレートのガラスが割れる危険があります。	
3. テープはがしシート・発泡シートの取り外し ・テープはがしシートの両端の①を持ち、テープが機器前桟部よりはがれるまで引き出してください。 ・テープはがしシート②に持ち替えて前面テープを引き出し右図 b)の状態にしてください。 ※テープはがしシートの番号がわかりにくい場合は、右図を参照して引き出してください。 ・機器下面のテープ・操作部パネルのテープを取り外してください。 **お願い** ・発泡シートは無理に取り外さないでください。 各操作部パネル・非常用電池ケースふたのツメが変形したり、破損する原因になります。	
4. サイドモールの取り付け ・サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ※サイドモールは、（左）（右）がありますので、右図のとおり取り付けてください。 **《サイドモールの取り付け忘れ注意！》**	

作業手順	説明図
5. パネルキズ防止材の取り外し ・左右操作部パネル下面内側に貼り付けているパネルキズ防止材とグリル前面にあるグリル入口パットを取り外してください。 **お願い** ・パネルキズ防止材を必ず取り外してください。 <u>取り付けたまま左右操作部パネルを閉めると、ツメなどが破損や変形の原因になります。</u>	左操作部パネル パネルキズ防止材 右操作部パネル パネルキズ防止材 グリル入口パット
6. 各操作部パネル・非常用電池ケースふたの取り付け ・各操作部パネル(3カ所)・非常用電池ケースふた(1カ所)を、右図の矢印の方向に回転させて、はめ込んでください。 **お願い** ・機器本体を取り出し、再度取り付ける場合は、グリル入口パットを再度取り付けて、各操作部パネル(3カ所)・非常用電池ケースふた(1カ所)を開かないようにテープで固定してください。(元のテープが再使用できない場合は、養生テープなどを使用してください。) <u>テープで固定せずに機器本体の取り出し、取り付けを行うとパネルが開き、各操作部パネル・非常用電池ケースふたのツメが変形したり、破損する原因になります。</u>	回転 回転 回転 回転

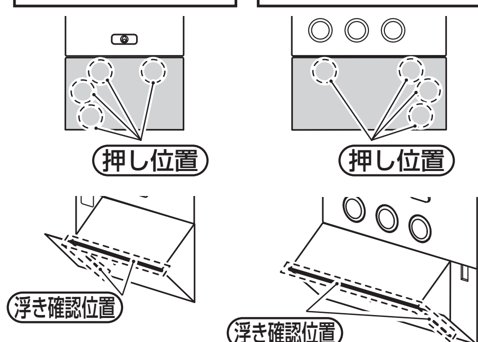
各操作部パネル・非常用電池ケースふたの取り付け後、必ず確認してください。

⚠注意

必ず守る **各操作部パネル・非常用電池ケースふた取り付け後、コンロ・グリル操作部パネル周辺に「浮き」がないことを必ず確認する。**
<u>浮きがあると、煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。</u>

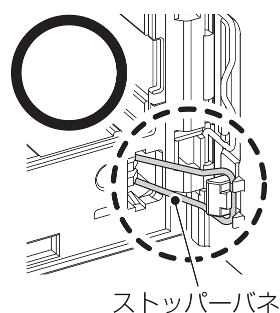
必ず守る **浮きがある場合は、右図の「押し位置」を指で押さえる。**

必ず守る **非常用電池ケースふた取り付け後、非常用電池ケースふた裏面にストッパーバネがツメ部に取り付けられていることを確認する。**
<u>ストッパーバネが取り付けられていないと、非常用電池ケースふたが90°以上開き、グリルとびらにキズがつく原因になります。</u>

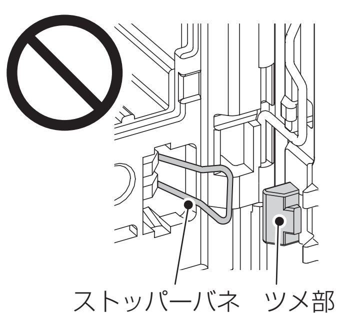


押し位置を指で押さえ、
浮き確認位置の浮きがないことを確認してください。

ストッパーバネが正しく取り付けられた図



ストッパーバネがツメ部から外れている状態



ストッパーバネとツメ部が外れているとき

ストッパーバネを図のように正しく押し込み、非常用電池ケースふたを閉めてください。ストッパーバネがツメ部に取り付けられます。
再度、非常用電池ケースふたを開いて、ストッパーバネがツメ部に取り付けられていることを確認してください。

押し込み位置を確認!

ストッパーバネ
正面から見た図



作　業　手　順	説　明　図
7. 機器本体の固定 ・機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。 ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。	機器本体 本体固定ネジ (4本)
8. オーブンとコンロのガス接続 ・オーブン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続してください。	接続の方法は、20ページ(ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法)を参照してください。
9. オーブン排気筒(オーブン側の付属部品)の取り付け ・オーブン排気筒上部のツバ部(穴)をコンロ側突起部に差し込みながら、オーブン後側の排気出口に確実に差し込んでください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。 ・オーブンの種類によって、オーブン排気筒の形状が異なります。 オーブン排気筒によって、仕切板(左)の必要性が変わりますので、注意してください。 1 ふくらみなし　2 両側ふくらみ　3 片側ふくらみ 1 → 仕切板(右):必要 仕切板(左):必要 **切断ライン**で切断 2・3 → 仕切板(右):必要 仕切板(左):不要	ツバ部(穴) オーブン排気筒 ツバ部(穴) オーブン後側排気出口部 コンロ側突起部 オーブン排気筒
10. 仕切板(右)、仕切板(左)の取り付け 1. オーブン排気筒形状が上記1 [ふくらみなし] の場合 ・仕切板(左)を切断ラインに沿って、ニッパーで切り取り、元通りに仕切板(左)・仕切板(左)取付ネジを取り付けてください。 **《切り取った仕切板は不要です。》** ・元通りに、仕切板(右)・仕切板(右)取付ネジを取り付けてください。 2. オーブン排気筒形状が上記2 [両側ふくらみ]、3 [片側ふくらみ] の場合 ・元通りに、仕切板(右)・仕切板(右)取付ネジを取り付けてください。 **《仕切板(左)は不要です。》** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	1. **仕切板(左)取付ネジ** **切断ライン** **仕切板(左)** **仕切板(右)取付ネジ** **仕切板(右)** 2. 仕切板(右)取付ネジ 仕切板(右)

作業手順	説明図
11. グリル排気筒の取り付け ・元通りにグリル排気筒（ネジ2本）を取り付けてください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。 **⚠注意** 必ず守る **グリル排気筒を確実に取り付ける** グリル排気筒が確実に取り付けられていないまま使用すると、機器が正常に機能しない場合や、機器損傷の原因になります。	グリル排気筒 グリル排気筒取付ネジ

[部品の取り付け]

作業手順	説明図
1. トッププレート・バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとく・グリル排気口カバー・非常用電池ケース・グリルとびら・サイドカバー・グリル受け皿・グリル焼網支持台・グリル焼網の取り付け **《ガスオーブンとセットで設置する場合は、グリル排気口ちり受け（上）は不要です。》**	取り付け方法は、10～13ページ（[部品の取り付け]）の項を参照してください。

[レンジフードファンの赤外線信号の動作確認]

作業手順	説明図
1. レンジフードファンと連動する場合 ・コンロ操作部で点火操作して、レンジフードファンの連動を確認してください。	レンジフードファンが動作しない場合は、12ページ（◎設定を変更するとき）の項を参照してください。

ガス接続・ガス配管工事

◎ガス接続

・ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠注意



コンロ接続用フレキ管にOリングがついていることを必ず確認する。

※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オーブン側に予備用としてOリングが入っていますので、使用してください。

※コンロ部の取り替え時は、Oリングを新しいものに取り替えてください。



Oリングは複数個入れない。



コンロ接続用フレキ管は斜めに挿入しない。

※斜めに挿入するとOリングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。



固定金具のスリット穴の中に、接続継手とコンロ接続用フレキ管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する。



コンロ接続用フレキ管のナットは、一定量圧縮するとそれ以上回らなくなるので無理に回さない。



コンロ接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない。

上記項目を守らなかった場合、ガス漏れの原因になります。

作業手順	説明図
■接続部の構造 コンロ背面 / 接続継手ツバ部 / ナットツバ部 / 接続継手 / M24 / ナット / コンロ接続用フレキ管 / コンロ側 / オーブン側 / Oリング / 挿入部	
1．オーブン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管のナット部を矢印方向へ移動させてください。	ナット
2．挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。	
3．手じめで接続用フレキ管のナットを回し、ナットツバ部と接続継手ツバ部が合うまでしめ込んでください。	しめ込み方向
4．ナットと接続継手の両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。 ※固定金具はナットのゆるみを止めるもので固定金具のスリット穴の中に接続継手とナットのツバ部が入っていることを確認してください。	スリット穴 / 固定金具（オーブン側に同こん） / 接続継手ツバ部 / ナットツバ部

◎ガス配管工事

・**機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換をしてください。**

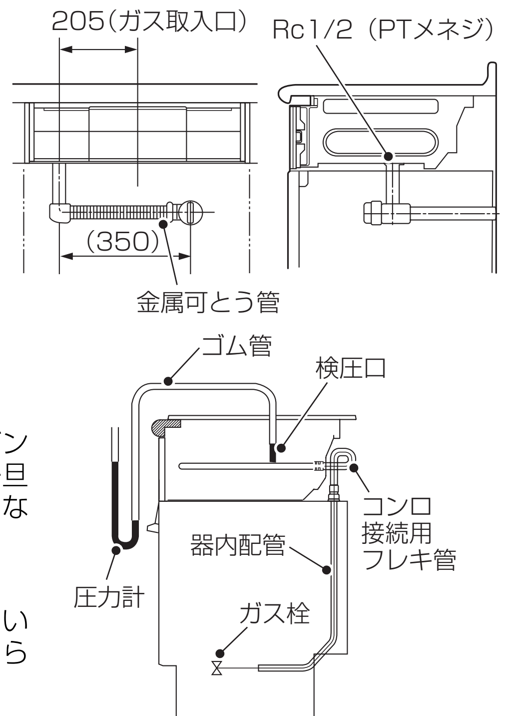
・**ガス接続方法**

［ビルトインコンロ単体で設置する場合］

・ガス接続は金属管、金属可とう管または、機器接続ガス栓を使用してください。
・ガス接続はRc1/2（PTメネジ）です。

［ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合］

・ガス接続口、配管工事は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。
すでにオーブンが設置されている場合は、20ページのガス接続に従ってガス接続してください。



・**接続・工事後のガス漏れ確認**

［機器のガス接続が完了している場合］

・検圧口（コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オーブンまたはコンロの検圧口）に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えたあと、ガス栓を閉めて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

［機器のガス接続ができていない場合］

・検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

［ガス漏れ確認終了後］

・検圧口ネジは確実に取り付けてください。
・ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。
・検圧口ネジを取り付け後に検圧口部からのガス漏れがないことを確認してください。

電気配線工事

⚠注意


必ず守る

『電気設備に関する技術基準を定める省令』に従い、工事する。
機器が故障した場合、感電のおそれがあります。


必ず守る

機器の消費電力は少ないですが、専用コンセントを設置する。
電源ブレーカー付の電源回路に接続することをおすすめします。


必ず守る

ガス配管や、給水・給湯配管、電話専用アース線と電気ケーブルなどの電気配線は接触しないように工事する。

◎アース（接地）工事

・万一の感電防止や落雷からの機器の保護のために、付属のアース線を取り付けてください。
・電源コード（アダプター）は、アース線付となっています。
・アース線はガス管や水道管、電話専用のアース線には絶対に接続しないでください。

⚠注意


アースする

次の場合は必ずD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）をするよう法律で義務づけられていますので、必ず電気工事店や、お買い上げの販売店または、弊社（取扱説明書の裏表紙連絡先参照）に依頼し、取り付けてください。

1. 湿気の多い場所
・うどん屋、そば屋などのように、水蒸気の充満した場所。
・土間、コンクリート床の場所。
・酒、しょうゆなどの醸造または、貯蔵する場所。

2. 水気のある場所
下記の場所は、漏電遮断器の取り付けについても義務づけられています。
・魚屋、八百屋の作業場など水を取り扱う場所、その近辺の水が飛散する場所。
・常に水が漏出したり結露する場所。

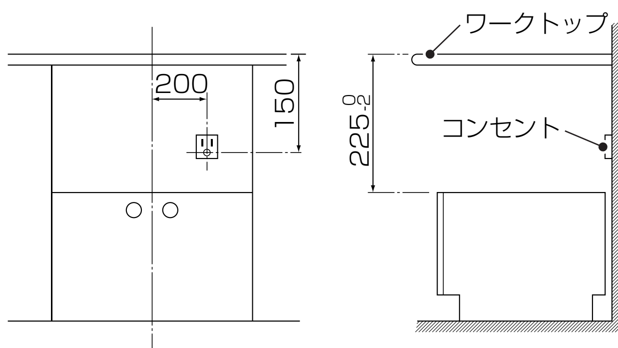
◎電源工事

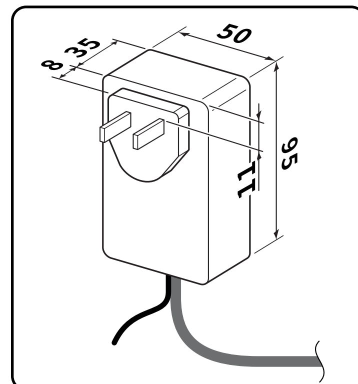
・電気配線について電力会社の指定工事店に依頼して、有資格者による工事を行ってください。
・この機器の電気仕様は右表の通りです。電源を確認してください。

使用電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力 (50/60Hz)	5.5W

■コンセントの設置は図のような位置に設置してください。
※電源アダプターの大きさに注意して、場所を決めてください。
※電気アダプターのコードは、機器との接触などに注意して、コンセント側で要領よくまとめておいてください。
※ビルトイン形ガスオーブンとのセットで設置する場合は、オーブン専用コンセントが追加になります。
コンセント位置はオーブン側の工事説明書を参考にしてください。

（単位：mm）





⚠警告


ぬれ手禁止

電源アダプターはぬれた手でさわらない。
感電の原因になります。


禁 止

電源コード、電源アダプターに無理な力を加えたり、加工をしない。
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。
キズつけない。加工をしない。
感電、ショート、火災の原因になります。


必ず守る

電源アダプターはコンセントの根元まで差し込む。
電源プラグの刃にほこりなどがたまり、発火の原因になります。

⚠注意


必ず守る

電源アダプターは、コードを持たずに電源アダプターを持って抜く。
コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

電気配線工事後、必ず確認してください。

⚠注意


必ず守る

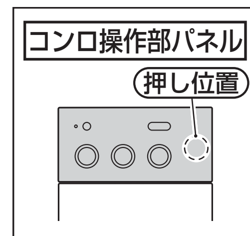
電源ボタンを押して、電源が入ることを確認する。
電源が入らない場合は、下記の内容を確認する。

・機器本体の電源アダプター、電源コードコネクターが、正しく接続されていることを確認する。
正しく接続されていないと、電源が入らない原因となります。

・コンロ操作部のパネルに「浮き」がないことを確認する。
「浮き」があると電源ボタンを押しても、電源が入らない原因となります。


必ず守る

浮きがある場合は、右図の「押し位置」を指で押さえる。



試運転

・取扱説明書の「使いかた」に基づいて試運転を行ってください。
※コンロバーナーは鍋なし検知機能付のため、鍋がない状態では点火できません。
水を入れた鍋を置くか、温度センサーに300g以上の荷重を加え、センサーを押し下げてください。
（点着火の際は注意してください）
※あぶり高温炒めモード使用時は、鍋なし検知機能ははたらきません。
・試運転終了後、長期間使用しないときはガス栓を閉めておいてください。

チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	3	
	電源（電圧）	銘板は使用する電源・電圧(100V)に適合していますか。	3	
	同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2・7〜13	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	5	
	設置条件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	5	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	4	
	水平設置	水平に設置されていますか。	4	
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4	
	操作部パネル	コンロ・グリル操作部パネルに「浮き」はありませんか。	9	
	非常用電池ケースふた	非常用電池ケースふた裏面に、ストッパーバネが取り付けられていますか。	9	
	シールパッキン	シールパッキンが外れていないか確認してください。	10	
	電源ボタン	機器の電源入／切を確認してください。	23	
	給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
ガス接続・ガス配管工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	20〜21	
電気配線工事		アース線の接続は確実ですか。	22	
		電源工事、電気配線工事は指定された工事がされていますか。	22〜23	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	ー	
その他		グリル・オーブン庫内に同こん物が残っていませんか。	ー	